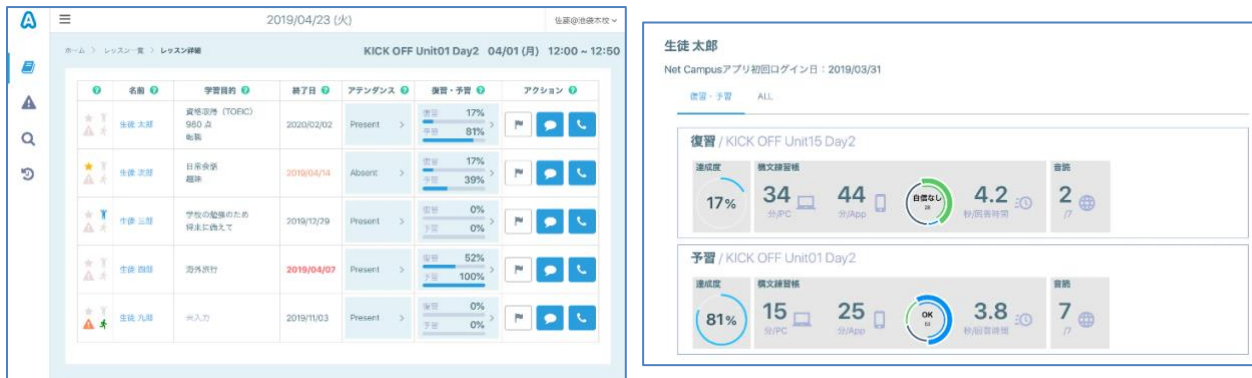


## 「イーオン デジタルトランスフォーメーション AEON DX」第2弾 「AEON NOTE」を5月13日より全国のスクールに導入 ～オンライン学習履歴やスクールでの英会話レッスンの進捗などをデータ化～

英会話教室を運営するイーオン、KDDI、および KDDI デジタルデザインは、教育と ICT を組み合わせた「EdTech」を推進する共同プロジェクト「イーオン デジタルトランスフォーメーション AEON DX」（以下「AEON DX」（注1））第2弾として、生徒の自宅学習状況やスクールでのレッスンの進捗などをデータベース化し、取得したデータの分析結果に基づきレッスンやカウンセリングを生徒個別に最適化する「AEON NOTE」を全国スクール（注2）に、2019年5月13日より導入します。



生徒の学習目的や進捗状況一覧

生徒一人の学習履歴確認画面

「AEON DX」では、ビッグデータとアナリティクス技術を活用し、「生徒の上達に向けた学習効率の最大化」「英語学習を快適に行える場の提供」のさらなる推進を目指しています。

「AEON NOTE」は、生徒専用の自宅学習サポートサイト「イーオン・ネット・キャンパス」ならびに「イーオン・ネット・キャンパスアプリ」における学習状況をはじめ、レッスンの契約状況や出欠状況、生徒のレッスンの進捗などをデータベース化し、タブレット上でスタッフが閲覧できるようシステムを構築しています。

これにより、教師・スタッフは、これまでに蓄積してきたノウハウと分析データの双方を活かすことで、より生徒一人ひとりに寄り添ったレッスンやカウンセリングを行うことが可能となり、生徒の学習モチベーションの維持・向上に貢献します。さらに、レッスンやカウンセリングの履歴もデータとして蓄積することで、コース進級やレッスン振替に伴う担当教師の変更・スタッフの異動があっても、継続して今まで以上にきめ細やかな学習アドバイスやコミュニケーションが可能となります。

2018年12月より全国のイーオン10校でパイロット検証を実施した結果、生徒への学習アドバイスや教師・スタッフからのよりタイムリーなコミュニケーションが見られ、生徒の満足度向上に繋がったことから、全国での導入を決定しました。

今後は、レッスンの習熟度データや、学習アドバイス後の実績・成果などを活用することで、生徒の英会話上達に向けた学習効率の最大化を図る提案が可能となります。

イーオン、KDDI、KDDI デジタルデザインは、「AEON DX」を通して「EdTech」のさらなる推進を図り、次世代の英語教育に貢献していきます。

(注1)イーオンデジタルプロジェクト AEON DX を改称

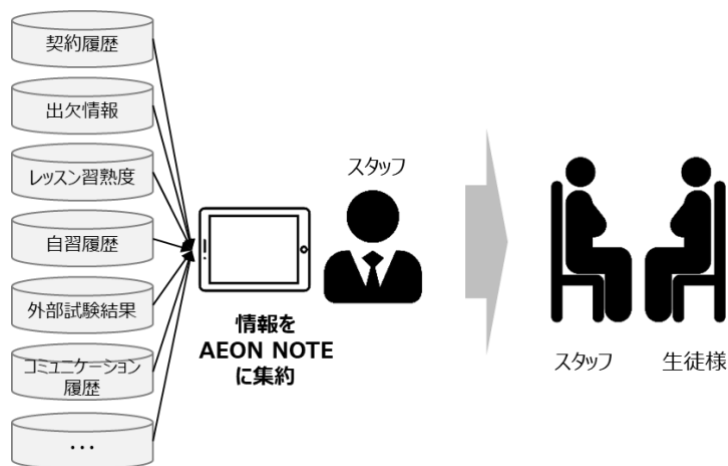
(注2)一部除く

## ■「AEON NOTE」について

「AEON NOTE」はタブレット端末に表示されるアプリケーションです。

イーオンがこれまで蓄積してきたノウハウに加え、ITやデータを活用することで、スクールスタッフの業務の高度化を図り、生徒への学習アドバイスやコミュニケーションの質の向上を図ります。

各種データは、レッスン時や生徒とのコミュニケーション時に参照し、またコミュニケーション結果を記録することもできます。その結果、コース進級やレッスン振替に伴う担当教師の変更・スタッフの異動があっても、生徒一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな学習アドバイスやコミュニケーションを継続して行うことを可能とし、生徒のモチベーション向上や満足度向上にも繋がります。



- 客観的データに基づき、生徒様にとって最適な学習アドバイスを実施可能に
- レッスン振替等に伴う担当教師の変更があっても、生徒様一人ひとりと継続的なコミュニケーションを実施可能に

## ■「AEON DX」とは

～英語力の上達を科学し、上達に向けた学習効率の最大化を目指す共同プロジェクト～  
ビッグデータとアナリティクス技術を活用し、「生徒の上達に向けた学習効率の最大化」「英語学習を快適に行える場の提供」のさらなる推進を目指す。現在、生徒の学習状況（自習やレッスン習熟度）と、英会話力の可視化を実現するため、データ収集、及びデータに基づいた最適な学習アドバイスを行うためのパイロット検証を推進中。

(3社の役割)

イーオン：英会話力向上の為の指導的な知見による企画業務

KDDI：コンシューマ向け通信事業の知見による企画業務並びに、先進技術の導入

KDDI デジタルデザイン：デジタル化のグランドデザイン及び開発